

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 2年 11月 30日

事業所名 放課後等デイサービス あひろば森田

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	○			極力死角を少なくし、全体を見渡しやすくして います。	利用者等の意見を反映させながら、その時の状 況に合った環境を整えられるよう継続して工夫 していきます。
	2	職員の配置数は適切である	○				今後も児童の人数や活動の内容に応じて、適切 な人員配置を心掛けていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	○			階段には手すりがあり、児童がいる時は階段上 にある柵をして転落防止に取り組んでいます。	事業所内部においても、安心して過ごす事が出 来る様に創意工夫を続けていきます。
業 務 改 善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目 標設定と振り返り）に、広く職員が参画し ている	○			毎朝の朝礼やミーティング時に、全体で課題の 共有や解決出来るよう話し合いをしています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	○				今回初めてアンケート調査を実施させて頂きま したが、集計結果を元に様々な分野で改善を 図っていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	○			弊社事業所のホームページに公開を予定してい ます。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			○		現在は第三者による外部評価は行っていない が、今後状況に応じて検討を行っていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	○			採用時研修を行ったり、定期的に研修（内外部 両方）への参加を促したりしています。	
適 切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上 で、放課後等デイサービス計画を作成して いる	○			アセスメントの場だけでなく、定期的に利用者 本人や保護者の方からニーズを聴き取り、支援 計画に反映させています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使 用している	○			児童支援の際にSSTカードなどを利用し、児童 と一緒に状況に応じた行動を考えております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	○			担当職員を中心に、月ごとにプログラムの構想 を練っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	○			児童たちの意見や季節色のあるイベントを取り 入れながら、固定しないよう作成にあたってい ます。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をき め細やかに設定して支援している	○			滞在時間やコンディションに応じて、目標行動 を設けたり環境を整備したりして支援を行って います。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせて放課後等ディサービ ス計画を作成している	○			アセスメントの結果を元に、個としての目標設 定と集団の中での目標設定を調整して設定して います。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認している	○			朝礼時に前日の児の様子や、保護者からの伝達 事項などを報告したり、話し合ったりしていま す。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			その日に伝えたい事、伝えるべき事は支援終了後に情報共有をその都度行っております。当日に出来なかった場合は、次の日の朝礼時にて情報交換を行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			個別記録を利用日ごとに作成しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			朝礼やミーティング時に支援方法のフィードバック等行い、継続・改善を図っております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている		○		適切な事業運営が出来るよう、放デイにおける基本理念や活動内容について定期的な研修等を通して再確認を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			対象となる会議の場には、児童の担当者及び施設長が状況に応じて参加しております。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			下校時間の変更等は、学校の先生方や保護者の方から連絡を頂き、情報共有を図っております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		「てんかん」などの症状を抱える児については、保護者の方とのやり取りを中心に症状が現れた際の対応について話し合いを行っています。	現在は保護者の方とのやり取りが中心ですが、状況によっては主治医の先生も交えて共通認識が出来る様に対応行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○			保護者からの聴き取りが中心ですが、必要に応じて関係機関との情報共有を検討しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在実績はありませんが、状況に応じて情報の提供を積極的に行っていきます。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			障がい児支援事業所連絡会の研修会やイベントに参加を行っています。	今後は療育センターの研修（ペアレントトレーニング研修等）などへも積極的に参加を検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○		今年度は新型コロナウイルスの影響で自粛しておりましたが、状況を窺いながら交流の機会等検討していきます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			地域で行われている障がい児支援事業所連絡会への参加を通して、様々な情報の共有・交換に取り組んでいます。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			事業所へのお迎え等や自宅への送迎時に当日の状況など申し送りを図っています。また連絡帳などのツールを活用し情報交換を図っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			今後ペアレントトレーニングに対する職員理解を深めた上で、状況に応じて保護者へのより深いアプローチを行っていきます。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時や定期的な支援計画の面談の際、必要に応じて個別に説明を行っております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			アセスメントや支援計画の際に、状況について聴き取りや意見交換をしたり、必要に応じて個別に対応を図ったりしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		子育ての悩みや、情報交換を進めていくため、保護者同士の交流の機会について検討していきます。外部機関開催の連絡会に申しましては、お知らせを掲示したり、配布したりしていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情・相談に対する窓口や体制を構築しており、迅速かつ柔軟な対応を心掛けています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			当事業所HP内にて定期的にブログを更新したり、イベントの通達を行ったり、また毎日のプログラム（紙）を配布して情報を発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			職員は当然のこと、外部の来訪者等にも必要書類の記入・同意にご協力頂いています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			児童に対しては、絵カードや分かりやすい例を出し意思疎通を図っております。また、保護者の方へは事業所へのお迎え等や自宅への送迎時に当日の状況など申し送りを図っています。また連絡帳などのツールを活用し情報交換を図っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	新型コロナウイルスの影響のため、現在企画を自粛しております。	状況を窺いながら、地域との交流（イベント等）を検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			ハザードマップや避難の手口を玄関付近の掲示しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			定期的に児童も参加の元、避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			定期的に外部の虐待に対する講座に参加したり、内部での研修を行ったりして虐待の防止や早期発見に努めています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			利用契約書に原則身体拘束の禁止を記載し、契約時に対応について説明させて頂いています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			保護者の方を介してアレルギーに関する情報を得たり、対応を行ったりしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			過去に生じた案件については、ヒヤリハット等報告書を作成し、情報共有や再発防止に努めています	